

2024年1月29日

次世代型環境対応バルクキャリア (N92BC) の船型開発完了

日本シッパード株式会社（以下、NSY）は、次世代型環境対応バルクキャリア (N シリーズ 92,000 DWT バルクキャリア：N92BC) (以下、本船) の船型開発を完了しました。

本船は、88,000 DWT 幅広浅喫水船型（以下、前船型）の後継船型となります。NSY が持つ最新の船型開発技術を結集し、各種省エネデバイスの装備・最適化等により、推進効率向上/平水中抵抗低減/波浪中抵抗増加低減を図ることで前船型に比べ更なる「低燃費化」を実現し、また輸送中の CO2 排出効率を大きく削減するといった「環境性」にも大きく寄与するだけでなく、載貨重量/ホールド容積の増大や7ホールド化に伴い、輸送貨物の「汎用性」も実現した、最新鋭の幅広浅喫水船型となります。

【本船概要】

主要寸法 : 全長 約 229m x 型幅 38m x 型深 19.65m x 満載喫水 14.20m
載貨重量 : 約 92,000 トン
ホールド/ハッチ数 : 7/7

【特徴】

- 2025年以降に建造契約を締結するばら積み貨物船(載貨重量2万トン以上)に要求される EEDI (注 1) Phase3 を標準仕様に設定しています。また、更なる CO2 排出削減を追求するため、船速設定により EEDI Phase3 の削減率を上回る 40%削減(注 2)を可能とした船型としています。
- 低抵抗・高効率を追求した最新船型であり、波浪中抵抗増加低減の効果が見込める SP-Bow®を採用しています。また、省エネデバイスとなる Super Stream Duct®、SURF-BULB®、ALV-Fin®の採用・最適化により、大幅な燃費削減を達成しています。
- 今後、メタノール燃料への転換を想定した「メタノールレディ」の概念設計を実施する計画としております。
- 国内主要電力港湾の主要寸法制限を満足することに加え、より汎用性を追求すべく、新たなコンセプトとして、全長 229m・7ホールドの採用、隔倉積を可能とし、穀物や鉄鉱石輸送等にも適した主要寸法・区画配置を採用しています。
- 風力補助推進システムの将来装備を想定し、船首部に搭載スペースを確保した係船機配置としております。

(注 1) Energy Efficiency Design Index(エネルギー効率設計指標)の略

(注 2) EEDI 基準比

私たちは一致団結し、海事産業から頼りにされるパートナーになります。
新しい技術に挑戦し、社会を幸せにする船の実現に邁進します。